

第 196 回 定時株主総会 Q&A 概要
(2021 年 3 月 26 日)

Q1	AI、IoT、DX など変化の激しい時代にあって、当社の歴史と伝統は守りながらも、激動する変化のスピードに対してどのように対応していくのか？
A1	厳しい経営環境にあることは間違いありませんが、当社グループでは AI や IoT など新しい技術を生産設備や物流、その他の経営基盤に取り入れることで事業の生産性を高める計画を進めているところです。こうした最先端の技術を使いながら当社グループの経営を前に進めていくことは非常に重要な経営課題であると認識しており、株主様からご指摘いただいた点も考慮にいれながら、当社グループの持続的な成長に向けて取り組んでまいります。
Q2	当社の財務計画ではドル円為替レートを 106 円/ドルと想定しているが足元は 108～109 円/ドルとなっており、円安基調で推移している。これは当社業績にとってプラスなのかマイナスなのか。
A2	基本的に、円安になれば円ベースでの連結業績にはプラスになるとお考えください。業績に最も影響を与えるのは人民元レートです。財務計画では想定レートを 15.7 円/人民元としていますが、足元では 16 円台で推移しており、これも円ベースの業績にはプラスになるとご理解ください。ただし、グローバルに原材料調達を行っておりますので、必ずしも単純に円安は連結業績にとってプラス、円高はマイナスということではないことも付け加えさせていただきます。

以 上